

平成24年度 特色ある学校づくり推進事業報告書

『学校・家庭・地域が一体となって進める心の教育』

あま市立甚目寺西小学校

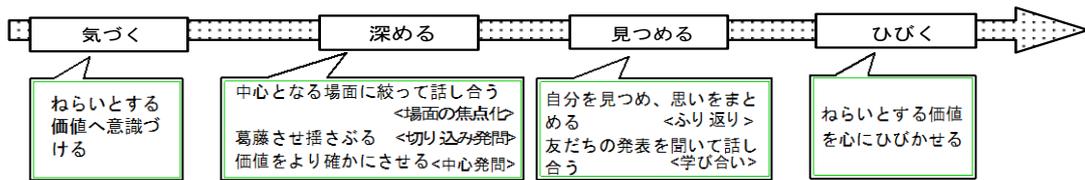
1 目的

学校・家庭・地域が一体となって心の教育を進めることで、規範意識の醸成とモラル向上をめざします。

2 内容

(1) 道徳教育

ア 共感したり違いを認め合ったりする道徳の授業の工夫
道徳推進教師を中心に計画的に道徳の授業を進めました。



本校では、上記のようなパターンに合わせて道徳の授業を実践しています。これまでの積み重ねにより、子どもたちは、自分の気持ちを素直にあらわし、よりよく生きていくためにはどうするとよいかを考えることができるようになってきました。今年度は、上記のパターンを踏襲しつつ、子どもたちの発達段階に応じた授業の工夫を行いました。

ひとり1回の研究授業を行い、甚目寺西小学校が取り組んできた道徳の時間の進め方等を研修してきました。

イ 道徳通信の発行

道徳通信スリーハートを発行し、学校行事等での児童の様子を、各家庭に知らせると共に、地域へ回覧し地域へも伝えてきました。



(2) 総合的な学習の時間等

【スリーハート】

各学年が以下のような内容で地域との関わりのある学習を計画し、進めています。

- 1年 昔の遊び体験
- 2年 地域への訪問（交番、西児童館、金物屋、ケーキ屋、弁当屋）
- 3年 地域への訪問（公民館、総合体育館、歴史民俗資料館）
- 4年 地域での学習・訪問（七宝焼き体験、消防署見学）
出前授業（ドリームマップ）
- 5年 地域への訪問（くすのきの家）出前授業（地球温暖化防止）
- 6年 出前授業（明治乳業、地球温暖化防止）

(3)心を豊かにする行事・環境整備

ア 体験活動の流れ

目標 → 啓発 → 活動・体験 → 振り返り → 学び合い

児童の主体的な活動をめざし、上記のような流れで体験活動を実践してきました。

各活動後に児童が記す「振り返りカード」を「にしっこ広場」に掲示したり、給食の時間に放送で紹介したりして、児童間での学び合いの場を広げました。



【にしっこ広場】

イ 七夕あいさつキャンペーン

目標…西小学校に元気なあいさつがひびくようにしよう。

啓発…児童会役員が朝礼時に、全校児童に目標とやり方の呼びかけを行います。

体験…「七夕あいさつキャンペーン」

振り返り…児童会役員の熱意が伝わったのか、課題であった高学年の児童も、笑顔であいさつをする姿が多く見られるようになりました。さらに学級委員や委員長以外の児童も、あいさつ運動にボランティアで参加し、元気よくあいさつをする姿も見られるようになってきました。これらは、生徒指導の基礎であるあいさつの輪が学校全体に広がったのと同時に、児童会役員の思いが実った瞬間でもありました。



【七夕あいさつキャンペーン】

ウ その他の行事

地域の方と一緒に学区の清掃を行う西っこクリーンキャンペーンを行いました。

特設部活動を開いて練習し、各競技会に参加しました。陸上では、男子総合1位女子5位でした。バスケットでは、男子が1位、女子が3位。サッカーは、3位でした。

エ 課題図書を購入し、読書タイム等に活用しています。

3 評価

道徳教育・総合的な学習の時間・心を豊かにする行事・環境整備、それぞれ計画的に進められ、成果を上げることができました。

4 課題

それぞれの取り組みを通して子どもたちは、規範意識が醸成されモラルを向上させた姿を見せています。この姿を一時的なものに終わらせず、継続した力、つまり実践力へとつなげていくため、あらゆる場面において、繰り返し子どもたちに働きかけていくことが必要です。